

## 卒業後の状況に関するアンケート集計について

令和 8 年度同窓会定期総会の参加確認ハガキにてアンケートを実施した。

卒業生数 8,422 名

発送数 6,329 通

発送日 令和 8 年 5 月 2 日

べ切日 令和 8 年 7 月 10 日

対象者数 748 名 (31 期生、33 期生、35 期生)

返信総数 全体 290 通

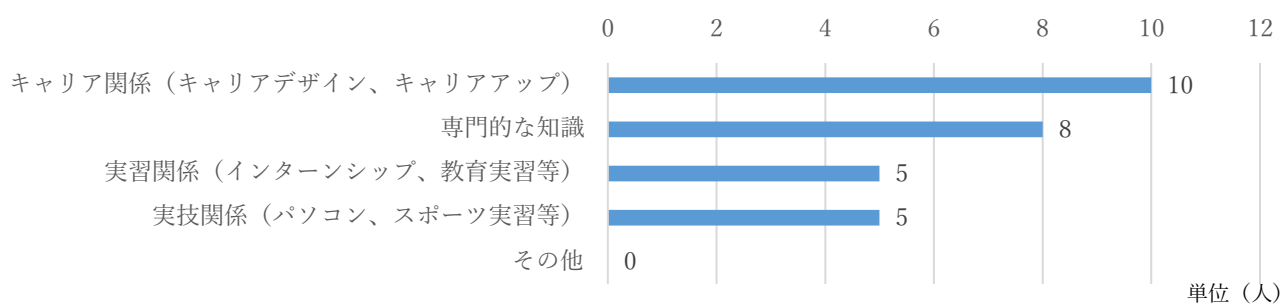
対象者回答総数 52 通 ※回答率 7.0%

有効回答数 27 通 (アンケート未回答を除いた)

※有効回答率 3.6%

### Q1. 大学で学んだことで卒業後に役立ったことは何ですか？

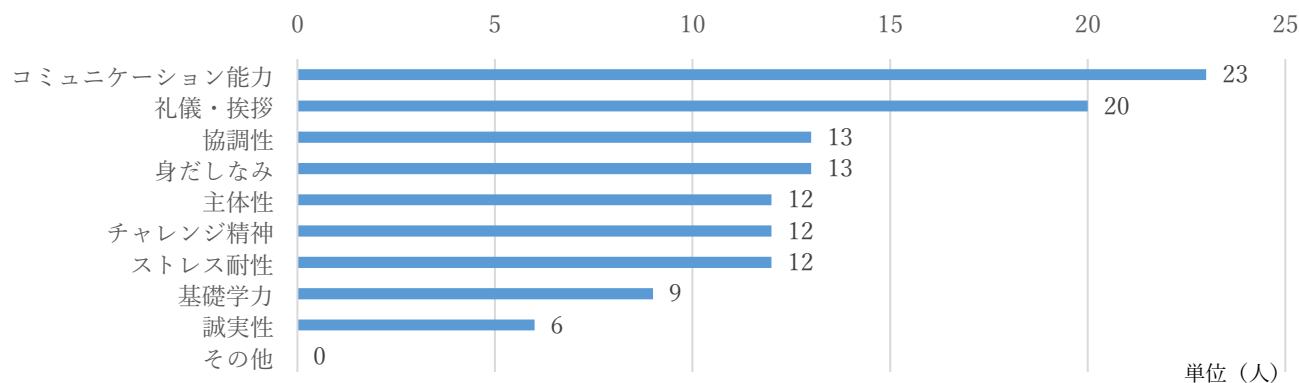
※複数回答可



例年同様、『キャリア関係』や『専門的な知識』の回答が多く、実社会で業務を遂行していく上で、本学での学びが役立ったと感じていると考えられる。卒業後 5 年未満の卒業生を対象としているため回答数が少なく、実社会での業務経験と大学での学びや経験が、まだリンクしていないことが原因と思われる。

### Q2. 社会人として求められているものは何だと思いますか？

※複数回答可



実社会において業務を遂行していく中で、自分自身への振り返り、同僚の動向などを鑑みた結果が数値に反映していることが伺える。

有効回答数 27 の内、85%を超える卒業生が『コミュニケーション能力』が求められていると回答しており、社会人として業務を遂行するにあたり実感したものと考えられ、企業が求めている要素とも一致する。

また、『礼儀・挨拶』『協調性』『身だしなみ』の項目が上位を占めている。いずれの回答も『コミュニケーション能力』を選択した上での、第二候補的な回答である。社会人に求められているものの根幹には、『コミュニケーション能力』があると考え、今後、学生の就職活動の支援をしていく上で『コミュニケーション能力』の向上は必要不可欠である。